

2025年度（2026年3月） 大腸がん・ブルーリボン活動月間 報告書



主催



公益財団法人

日本対がん協会

【概要】

日本対がん協会では、国際的な大腸がん啓発月間である3月に、大腸がんへの理解を促し、検診の受診促進、そして大腸がん患者・経験者（以下大腸がんサバイバー）の方への応援を目的として2021年より啓発活動を行っております。

2025年度は「大腸がん・ブルーリボン活動月間」として、大腸がんサバイバーやご家族への支援情報を中心に、大腸がんへの理解と検診への関心が社会に広まることを目指した活動を行いました。

大腸がんは大腸（結腸・直腸）にできる悪性腫瘍（がん）です。日本では罹患者数が最も多いがんであり、1年間で新たに大腸がんと診断される患者は約15万人*1に上ります。特に女性においてはがん死亡者数 第一位*2となっています。しかし、大腸がんは早期のうちに適切な治療を受ければ多くの場合完治が見込めます。あまり自覚症状がない早期の大腸がんを見つけるために、40歳以上には定期的な大腸がん検診が重要です。

<出展>

* 1：国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（全国がん登録）2020年

* 2：厚生労働省「2023年人口動態統計（確定数）」

【大腸がん啓発月間について】

2000年、当時のアメリカ大統領が
3月を大腸がんの啓発月間と制定しました。
またブルーリボンは国際的な大腸がん啓発リボンです。



特設サイトへの誘導バナー

【大腸がんに関する動画を公開】

大腸がんという病への理解を深める2本の動画をYouTubeで公開しました。専門医・看護師による動画では、大腸がんの基礎知識から、患者さんやご家族のQOL（生活の質）向上に役立つ内容についてお話しいただきました。

大腸がんサバイバーさんの動画は、インタビュー形式で日常生活で感じる困りごとや日常生活の工夫などの経験を語っていただきました。

それぞれの動画は3月11日の公開から3月末までの間に5万回以上再生されています。

■「知っておきたい大腸がんの知識」

国立がん研究センター中央病院 大腸外科 高見澤 康之 氏
同 皮膚・排泄ケア認定看護師 中野 祥江 氏



高見澤医師に大腸がんの基礎知識と治療、気になる術後の症状までを解説いただき、日々の診療で患者さんから寄せられるご質問などについてお話しいただきました。

患者さんやご家族の方に知っていただきたい食事・排泄の管理について、皮膚・排泄ケア認定看護師（WOCナース）の中野看護師にわかりやすくお話しいただきました。

YouTube再生数（2026年3月11日～3月31日）50,852回

■「大腸がんとの付き合い方」

リレー・フォー・ライフ・ジャパン信州長野実行委員 柿本 聡 氏
GCCA JAPAN 世話人

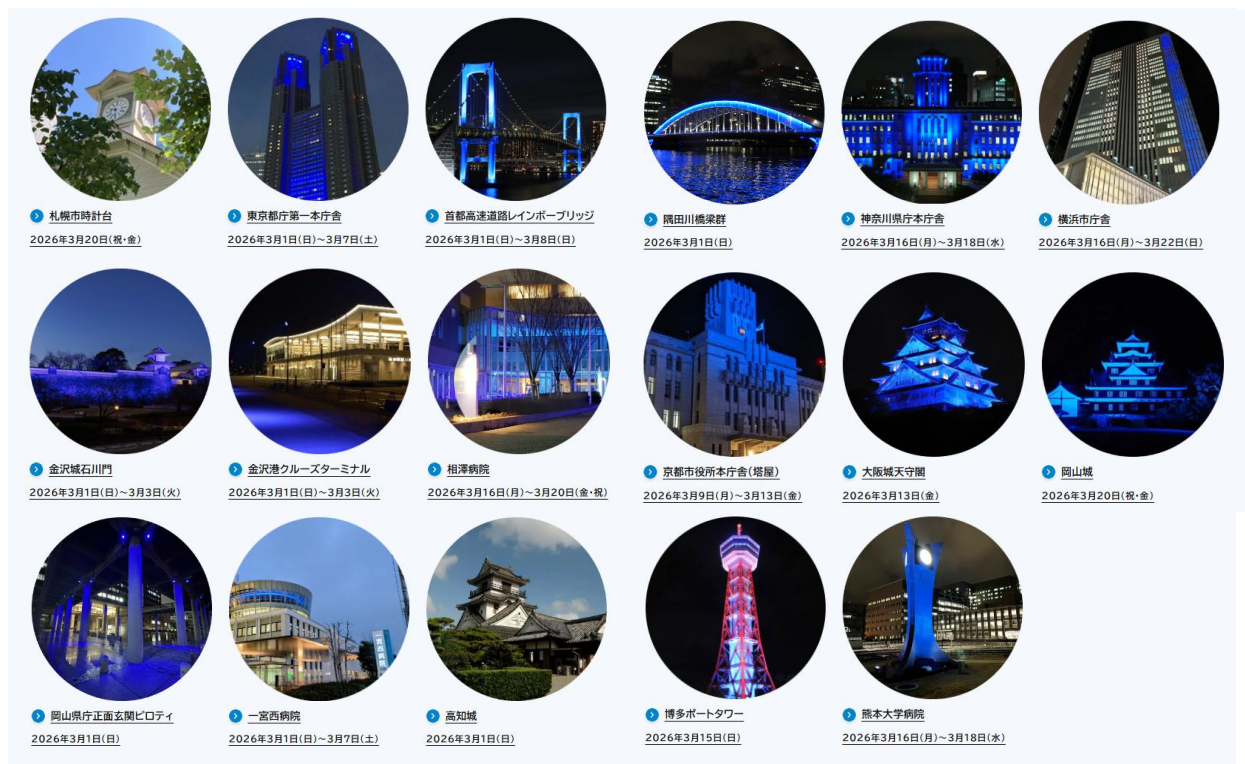


大腸がんサバイバーでもあり、リレー・フォー・ライフ・ジャパン信州長野実行委員 / GCCA JAPAN世話人の柿本聡氏に大腸がんを発見した経緯から、外出時の困りごとや、日常生活で工夫されていることなどをお話しいただきました。

YouTube再生数（2026年3月11日～3月31日）61,325回

【17施設をブルーにライトアップ】

地域のシンボリックな建物・医療機関などを啓発カラーのブルーにライトアップし、大腸がんへの理解と大腸がんサバイバーへのメッセージ発信を呼びかけました。2025年度は全国17施設にご協力いただき、点灯されました。
(札幌時計台は新規点灯施設)



- ・東京都庁第一本庁舎 3月1日(日)～3月7日(土)
- ・隅田川橋梁群 3月1日(日)
- ・首都高速レインボーブリッジ 3月1日(日)～3月8日(日)
- ・金沢城石川門 3月1日(日)～3月3日(火)
- ・金沢港クルーズターミナル 3月1日(日)～3月3日(火)
- ・一宮西病院 3月1日(日)～3月7日(土)
- ・岡山県庁正面玄関ピロティ 3月1日(日)
- ・高知城 3月1日(日)
- ・京都市役所本庁舎(塔屋) 3月9日(月)～3月13日(金)
- ・大阪城天守閣 3月13日(金)
- ・博多ポートタワー 3月15日(日)
- ・神奈川県庁本庁舎 3月16日(月)～3月18日(水)
- ・横浜市府舎 3月16日(月)～3月22日(日)
- ・相澤病院 3月16日(月)～3月20日(金・祝)
- ・熊本大学病院(時計塔・プロムナード)
3月16日(月)～3月18日(水)
- ・札幌市時計台 3月20日(金・祝)
- ・岡山城 3月20日(金・祝)

点灯日順

【大腸がん・大腸がん検診について知る】

大腸がん・大腸がん検診への理解促進を目的として、当協会の大腸がんに関する情報ページおよび国立がん研究センター「がん情報サービス」へのリンクを紹介しました。

また、わかりやすいイラストで大腸がんへの正しい理解を促すダウンロード可能なリーフレット『もっと知りたい大腸がん』を掲示し、情報提供を行いました。

【消化にやさしいレシピと食事の注意点をご紹介します】

大腸がんサバイバーさんやそのご家族が、日々の食事づくりに無理なく取り入れられる、消化がよく家庭で簡単に作れるレシピを紹介しました。

あわせて、監修医および管理栄養士によるコメントを掲載し、がん患者さんの食事における工夫や注意点について、専門的な知見に基づく情報を提供することで、日常の食事づくりの参考となる内容としました。



＞ ふわとろ卵スープ



＞ お麴の卵とじ



＞ パンケーキ

レシピ提供

料理研究家・介護食アドバイザー

クリコ氏

監修協力

岡山済生会総合病院 内科・がん化学療法センター 主任医長 犬飼 道雄 氏
同 管理栄養士 大原 秋子 氏

【オンライン会議用背景画像プレゼント】

オンライン会議用の背景画像を特設サイトに設置しました。画像は、ライトアップにご協力いただいた施設の写真を使用して制作し、どなたでもダウンロードできるよう公開しました。

背景画像を利用する方だけでなく、オンライン会議等で背景画像を目にする方への啓発にもつながる取り組みとし、多くの方の目に触れる機会をつくりだすことで、啓発月間の認知向上を図りました。

*ダウンロード数：49回（3月1日～3月31日）



【特設サイト訪問者にアンケートを実施】

特設サイト訪問者に任意でアンケートを実施しました。訪問者のお立場、有益であったな情報コンテンツの有無、そして特設サイトをきっかけとした行動やお気持ちの変化についてお答えいただきました。大腸がんの基礎知識についての問いも設置し、大腸がんについて正しく知っていただく機会となりました。

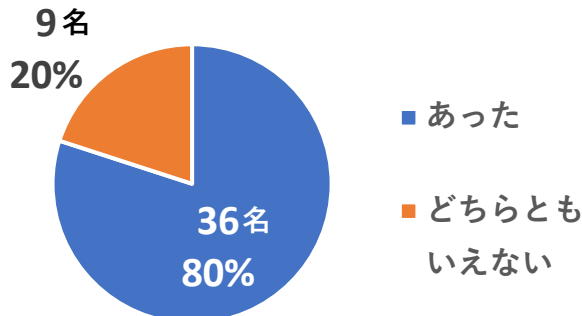
n=45

Q1_お立場を教えてください

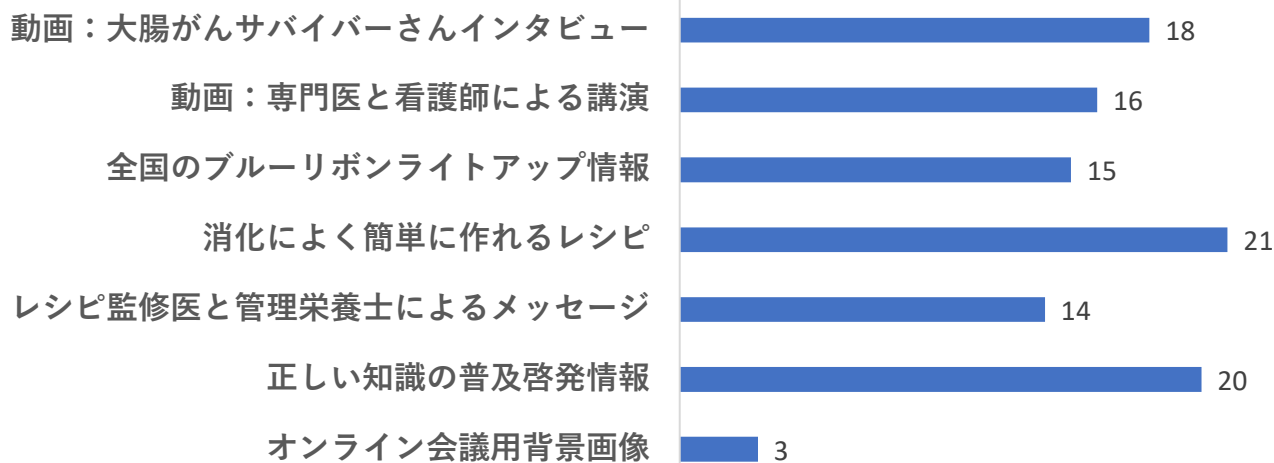
大腸がん患者さん・大腸がん経験者	23
大腸がん以外のがん患者さん・大腸がん以外のがん経験者	6
がん患者さんのご家族	10
医療従事者	2
その他	5

※複数回答

Q2_知ることができてよかった情報はありましたか

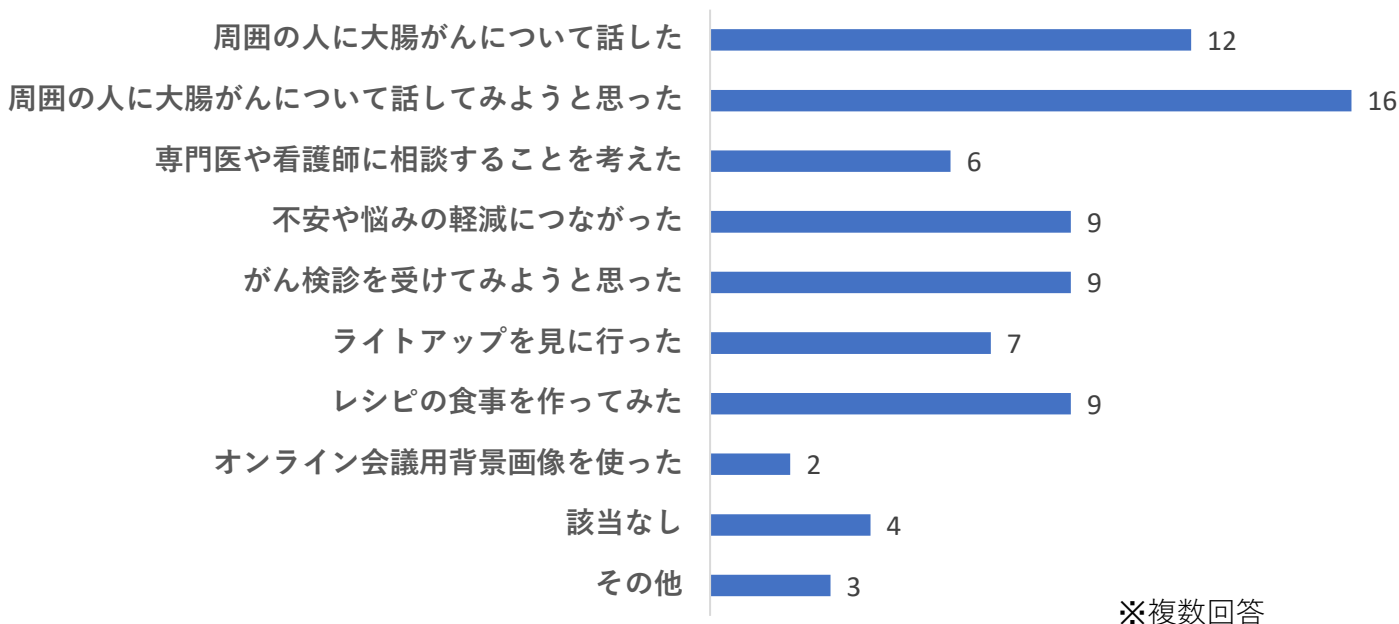


Q3_知ることができてよかった項目を教えてください

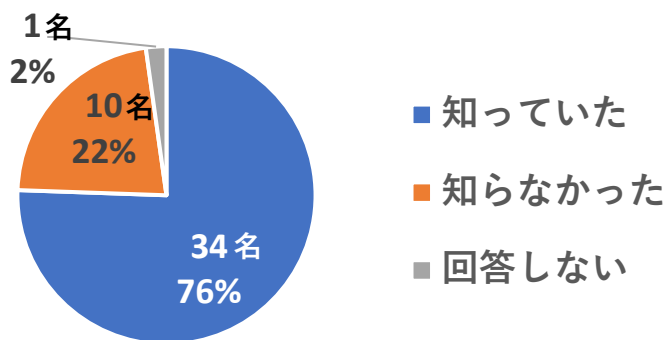


※複数回答

Q3_特設サイトをきっかけで該当することがあれば教えてください



Q4_大腸がんは日本の最新データで罹患数が1位であることを知っていますか



・・・アンケート結果をみて・・・

今回のアンケート（n=45）では、サイト訪問者のお立場は大腸がんの
がん患者さん・経験者を主としたがんサバイバーの方、またそのご家族と
いうことがわかりました。

「知ることができて良かった情報」では、今回初めての試みとして掲載し
た食事に関する情報提供（レシピ、監修医と管理栄養士からのメッセー
ジ）が特に好評で、食事や日常生活にかかわる情報の必要性がうかがわれ
ました。

特設サイトをきっかけに、大腸がんに関して「周囲の人と話をした/話
してみようと思った」や、「専門医や看護師に相談することを考えた」と
いった気持ちや意識の変化につながった回答もみられ、特設サイトが周囲
の人とのコミュニケーションのきっかけとなったことがうかがえました。

また、「大腸がんは日本で罹患数1位であることの認知」についての設
問では、知らなかったと回答した人が約2割となり、今後も継続的な情報
発信が必要であることが示されました。

【まとめ】

2025年度の「大腸がん・ブルーリボン活動月間」では、専門家による動画配信、大腸がんサバイバーの方のインタビュー動画配信、日常生活に役立つレシピの紹介、監修医・管理栄養士からの食事に関するメッセージや全国各地でのライトアップ、オンライン背景画像の配布など、多様な取り組みを通じて、患者さんやご家族への支援情報を増やしていくことを目的に情報発信を進めてまいりました。大腸がんサバイバーさんやご家族の困りごとや日常に沿う情報を充実させたことでより多くの方に関心を持っていただく機会となりました。

アンケート結果からは、本企画が周囲とのコミュニケーションや医療者への相談を考えるきっかけとして、また不安や悩みの軽減につながり、一定の役割を果たした可能性が示されました。

一方で、回答者の半数以上が大腸がんサバイバーやご家族であるものの、大腸がんが日本での罹患数1位についての認知は約7割にとどまり、引き続き正しい知識の普及啓発も重要な課題であることがわかりました。

今後も大腸に対してもがんに関する基礎的な情報の発信に加え、大腸がんサバイバーさんやそのご家族日常生活に役立つ実践的な情報提供を行い、大腸がんサバイバーさんとそのご家族が希望をもって暮らすことができる社会の実現を目指します。

終わりに、動画撮影をはじめ、レシピの提供・監修、ライトアップにご協力いただいた各施設の関係者のみなさまにあらためて感謝申し上げます。

2026年7月



公益財団法人

日本対がん協会

東京都中央区築地5-3-3 築地浜離宮ビル7階

TEL : 03-3541-4771 / Fax : 03-3541-4783 / Mail : gsc@jcancer.jp